News release

2026 年 11 月 13 日
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社

BAT のライフサイエンス部門責任者が初来日
国際学術大会にて、モダンオーラルとたばこハームリダクションに関する
最新の科学的知見を発表

ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社（本社：東京都港区、社長：マウリシオ・ララ、以下「BAT ジャパン」）は本日、2026 年 10 月 10 日（土）に開催された「第 1 回アジア太平洋ハームリダクション・アディクション学会（The 1st Congress of Asia – Pacific Society of Harm Reduction and Addiction、以下『ASHRA』）」において、今回初めて来日した BAT のグローバルライフサイエンス部門責任者クリストファー・ジュンカーが講演したことをお知らせするとともに、その講演内容の概要を公開します。本大会は「2026 年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会」の会期中に同時開催された国際学術大会です。講演では、BAT の 9 段階の科学的評価フレームワークと最新の研究成果に基づき、モダンオーラルとたばこハームリダクションに関する科学的知見を紹介するとともに、継続的な科学的検証の重要性について説明しました。



BAT は、「スモークレスな世界」の実現と「A Better Tomorrow™（より良い明日）」の創造を目指し、たばこハームリダクション（Tobacco Harm Reduction：THR）の考え方に基づく取り組みを推進しています。こうした取り組みにおいて、近年注目されている製品カテゴリーの一つが、燃焼や加熱を伴わず、歯茎と上唇の間に挟んで使用するパウチ型製品「モダンオーラル」です。モダンオーラルには、日本で流通している「モダン・オーラルたばこ」や、海外で流通しているたばこ葉を含まない「ニコチンパウチ」など、特性の異なるさまざまな製品が含まれます。BAT は、これらの製品について、科学的エビデンスに基づき、その特性や健康リスクを継続的に評価・検証するとともに、透明性をもって発信することが重要だと考えています。

今回の講演では、はじめに、紙巻たばこの喫煙に伴う健康リスクについて、たばこの燃焼によって発生する有害性物質とニコチンのそれぞれのリスク特性を解説し、両者の違いを理解することの重要性を説明しました。

続いて、モダンオーラルの科学的評価に際して BAT が採用する 9 段階の科学的評価フレームワークを紹介しました。同フレームワークでは、製品特性や毒性評価、使用者への曝露、個人および集団への影響など、複数の観点から段階的に評価するもので、講演ではこれらの評価から得られた研究成果について説明しました。BAT のモダンオーラルに関する研究成果は、2026 年 8 月時点で 18 報の査読付き科学論文として公表されています。

これらの科学的知見を踏まえ、成人喫煙者が紙巻たばこから完全に切り替えた場合に、モダンオーラルがたばこハームリダクションに寄与する可能性について説明するとともに、これらの製品にもリスクや依存性があり、長期的な健康影響を含めた継続的な科学的検証が重要であることを強調しました。

BAT は、こうした研究から得られた科学的知見を医療従事者や行政機関をはじめとする幅広いステークホルダーと共有し、たばこハームリダクションやスモークレス製品に関する科学的理解と、エビデンスに基づく議論を深めることが重要だと考えています。

1956 年に英国サウサンプトンに開設された BAT 初の研究開発施設は、今年で活動開始から 70 周年を迎えました。2024 年には同拠点に新たなイノベーションセンターも開設するなど、体制の強化を続けています。BAT は、長年にわたり培ってきた研究開発の知見と実績を礎に、今後も科学的エビデンスの継続的な蓄積・検証と透明性のある情報発信を通じて、たばこハームリダクションをめぐる科学的理解と議論の発展に貢献してまいります。

2026 年 9 月に更新版が公開された「Omni™（オムニ）」では、BAT の研究開発の進捗や科学的知見に関する最新の情報をまとめています。
Omni™公式サイト：https://www.asmokelessworld.com/gb/en

登壇者プロフィール



クリストファー・ジュンカー
BAT グローバルライフサイエンス部門責任者

2011 年にレイノルズ・アメリカンに入社。約 15 年間にわたって、分析化学の研究者、製品試験・評価や品質管理および規制当局対応、科学・規制部門の責任者を歴任した後、2025 年 4 月に BAT 本社のグローバルライフサイエンス部門責任者に就任。現在は、ライフサイエンス研究プログラムの戦略的方向性を担うとともに、BAT のスモークレス製品ポートフォリオやたばこハームリダクションを支える科学的エビデンスの創出を統括。

BAT ジャパンについて



社　名：ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社
所在地：〒107-6220　東京都港区赤坂 9-7-1　ミッドタウンタワー20F
代表者：社長 マウリシオ・ララ（Mauricio Lara）
公式サイト： https://www.batj.com/

BAT（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ）はマルチカテゴリーにわたる消費財ビジネスを牽引するグローバルカンパニーです。英国・ロンドンに本社を置き、47,000 人以上の従業員を擁しています。

当社は「スモークレスな世界」への移行を加速させるため、長期的な持続可能性を見据えたポートフォリオ変革を推進しています。この変革に向け、当社スモークレス製品のユーザー数を 2030 年までに 5,000 万人に引き上げ、2035 年までにグループ収益の 50%以上をスモークレス製品から創出することを目標としています。当社のスモークレスブランドは世界で 3,410 万人超の成人に使用（2025 年末時点）されており、これらの使用者の多くが紙巻たばこから完全に切り替え、または消費量を低減しています。

変革に向けた基盤となる考え方が「たばこハームリダクション（たばこの害低減、THR）」です。THR とは、喫煙を継続する可能性のある喫煙者に対して、紙巻たばこのような燃焼式製品から、リスク低減の可能性を秘めたスモークレスなたばこ・ニコチン製品への切り替えを促す取り組みです。当社は THR に関する考え方やエビデンスベースの知見、取り組みの変遷を「Omni™（オムニ）」を通じて公開するとともに、継続的に研究・科学分野の体制を強化しています。

BAT ジャパン（ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン）は、BAT の日本法人です。日本では 1984 年にたばこ販売事業を開始し、2001 年に BAT ジャパンとしての歴史が始まりました。現在、紙巻たばこに加え、加熱式たばこ、オーラルたばこといったスモークレス製品の輸入および販売を行っています。日本での主力ブランドはグロー（glo™）、ベロ（VELO）、ネオ（neo™）、ケント（KENT）、クール（KOOL）、ラッキー・ストライク（LUCKY STRIKE）です。

■報道関係者からのお問い合わせ先■

BAT ジャパン 広報代行 株式会社プラップジャパン 小田、荒木、米田
TEL：080-5989-7917（小田）090-3670-8496（荒木）
E-mail：bat-pr@prap.co.jp